

(第3種郵便物認可)

# 静内産ミニトマト出荷開始

## ハウス倒壊被害で減産見通し

【新ひだか】しずない農協の選果場＝静内木場町＝で静内産ミニトマト「太陽の種」の出荷が始まった。昨年の生産販売額は過去最高の約9億8500万円となり、関係者はハウス被害の影響が

あるものの、昨年同様のハウス倒壊被害（41戸・250棟）を受けた影響から、前年より少ない約28秒に作付けし、出荷額8億2100万円を目標にしている。選果場での出荷は21日から本格稼働。出荷量はまた少量で、週明けから徐々に本格化する見込み。農協によると、春先の低温や日照不足、ハウ

ス倒壊などで、出荷できず、今は地元や道内向けに、6月からは首都圏や中部、関西方面への出荷

が始まる。選果ラインの稼働は、初夏から秋にピークとなり、40人以上の作業員が選果や箱詰めに入り、選果作業は11月下旬まで続く予定。同農協では31年度までの農業振興計画でミニトマトの生産額は10億円を目標にしている。新規就農者の拡大を含め、増産に向けた諸対策に取り組む方針だ。



ミニトマト「太陽の種」の出荷が始まったJJAの選果場